

今週のビルマのニュース 2008年8月下旬特別号【0826号】

今週の主なニュース：国連特使の訪問、失敗に終わる

・国連のガンバリ事務総長特別顧問がビルマ（ミャンマー）を訪問し、軍政のテインセイン首相と会談するなどした。軍政トップ・タンシュエ将軍とは会えなかった。また国民民主連盟（NLD）の幹部らとは会談したが、アウンサンスーチー氏との会談は、スーチー氏側が面会を拒否したため実現しなかった。

・スーチー氏はガンバリ氏との面会を拒否することで国連による仲介努力への不満を表明したと見られている。NLDのニャンウィン氏も「特使の訪問は何も成果を上げず、結果として時間の無駄だった」と述べた（24日付AFPほか）。

その他：参議院ODA調査派遣がビルマ難民キャンプに、ほか

・参議院ODA調査団（中村哲治団長）はタイにあるタムヒン難民キャンプ（ビルマからの難民約7000人を収容）内の学校を視察した。また翌24日にはバンコクで難民支援などを行うNGO代表者らと会談した。

<背景> 参議院では、参議院改革協議会報告書（平成15年）の提言「ODA経費の効率的運用に資するため、新たにODAに関する専門の調査団を派遣すること」等に基づき、平成16年度から毎年度ODA調査のための議員派遣を行っている。

・日本政府は「第三国定住」難民としてタイで暮らすビルマ難民約30人を受け入れることを決めた。タイ・ビルマ国境の9カ所のキャンプには約14万人のビルマ難民がいたが、2005年から欧米などへの第三国定住が始まり、これまでに3万人以上が移住した（うち2万人以上が米国に移住）。日本はアジアで初の受け入れ国になる（25日付毎日新聞ほか）。

・ビルマ西部チン州でネズミが大発生して田畑を荒らしたため住民が食糧不足に陥り、これまでに子ども約40人が死亡、2000人がインド側に避難した（20日付イラワディ誌ほか）。

・ビルマ国内で民主化活動をする「88世代学生グループ」のミンコーナイン氏らが2007年8月22日に逮捕されてから1年がたった。当局による燃料の突然の大幅値上げに抗議して氏らが始めたデモ行進が発端となって全国的な抗議運動につながった。米国防務省は22日、ミンコーナイン氏やアウンサンスーチー氏ら政治囚の解放を求める声明を発表した。

Eメールでの受信をご希望の方は、yuki@burmainfo.org にご連絡ください。

ビルマへの政府開発援助（ODA）約束状況など

新しい発表はなし

イベントなど

・ブリッジ・エーシア・ジャパン「ベトナム・ミャンマー料理会」（アカデミー向丘、31日 11時～）
要申込

・ビルマ難民 TZL 氏難民不認定取消訴訟（大阪地裁 1007号法廷、9月3日 10時～）

・映画『ビルマ、パゴダの影で』DVD発売記念上映付きトークイベント～ビルマ難民出身のファッション・デザイナー、渋谷 ザニーさん（渋谷UPLINK Factory、9月7日19時～、トーク20時半～）

・雨安居明けを祝うビルマのお祭り「ダディンジュ祭」国民民主連盟（解放地域）日本支部主催（王子・飛鳥山公園、9月21日 11時～）

・ビルマ・ロヒンギャ難民（複数）難民不認定取消訴訟（大阪地裁、9月24日 10時～）

・ブリッジ・エーシア・ジャパン「ミャンマーの村の暮らしと水～今年で10年、そして井戸100本目も目前～ミャンマー・水供給事業報告会」（JICA地球ひろば3階セミナールーム 301、9月26日 18時半～） 要申込

特定非営利活動法人メコン・ウォッチの季刊誌「フォーラム Mekong」、ビルマ特集の最新号が好評発売中。

もっと詳しい情報は

きょうのビルマのニュース（平日毎日更新）
<http://d.hatena.ne.jp/burmainfo/>

ビルマ情報ネットワーク
<http://www.burmainfo.org/>

お問い合わせ

ビルマ情報ネットワーク 秋元由紀
yuki@burmainfo.org 080-2006-0165

次号は9月13日に配信します。